

片瀬社協
だより

しあわせ

平成28年6月25日発行

編集・発行

片瀬地区社会福祉協議会

藤沢市片瀬3丁目9番6号

片瀬市民センター

☎ 0466 (27) 2711



子育ての「いま」

臨床心理士 原 陽子

幼い子どもたちの悲しいニュースが後を絶ちません。父親や母親の我が子に対する愛情が変わってしまったのでしょうか。私たち地域に何ができるのでしょうか。かたせ・にここ広場で、お母さん方の子育ての悩みにやさしく答えてくださる臨床心理士の原陽子さんに、現代の子育てについてお聞きしました。

早いもので「かたせ・にここ広場」に通い始めて6年の月日が流れました。その中で、子育てについて考えさせられることがたくさんありました。現代は子育ての情報があふれんばかりです。かえって混乱をしているようにも見えます。文字だけの情報は、読み取り方によっては怖いものも感じます。

ある保育園でこんなエピソードがありました。3歳児の兄と1歳児の妹がいつも同じ洋服で通園していて、給食はあつという間に平らげることでした。担当保育士はお母さんに、洋服を洗濯してほしいことと、朝ご飯を食べているのか聞いたところ、時間がない

からパンだけは食べさせているという答えでした。また、いつもお迎えが遅いので聞いてみると、スパーで惣菜が値引きになると待つてから、お迎えに来ているとのこと。

その後は、5時にお迎えに来るようにはなったものの、他の保護者からはスパーで兄妹が走り回っていて叱られている、近所の民生委員からは夜になっても外で遊んでいる、とのお話がありました。虐待(ネグレクト)? 通報?

そこでお母さんにお目にかかり、今困っていることはなんですか? と尋ねると、「子どもがいうことを聞かない」「父親の帰宅が遅く、

子どもがいつまでも寝ないで起きている」などのお話を聞かせていただきました。お母さんのご実家は遠く、相談できる人が近所になく、働いているので悩みを話せる友達も出来ない、とハンカチを握りしめてのお話でした。

そこには、誰にも助けてといえずに頑張ってきたお母さんの姿がありました。お子さんへのかかわり方などを助言して、今後も困ったことがあったら、いつでも相談にのりますと伝えました。何度も頭を下げて帰宅していった後ろ姿が印象的でした。

子どもは否定されては、育ちません。強く叱られれば、受けたエネルギーをどこかで発散します。

物を投げたり、誰かをたたいたりしない、気持ちは収まりません。

お互いのいいところに目を向け、誰もが不完全であり、他人との比較をせず、相手を信じ、声に出して自分の気持ちを相手に伝えることが大切だと思います。



かたせ・にここ広場 地域の縁側
お気軽にお立ち寄りください。

*かたせ・にここ広場

片瀬地区ボランティアセンター

「ひだまり片瀬」にて

藤沢市片瀬3-16-10

香川ビル1階

第一を除く木曜日10時〜15時
問合せ

片瀬地区ボランティアセンター

「ひだまり片瀬」

電話 28-3774

家庭だけでなく、日常の中の「おはよう」「こんにちは」「元気だね」などの何気ないことばのやりとりが、子どもが育つ地域で自然にでき、そして、支え合う気持ちが生まれると安心・安全な環境が生まれ上がると考えます。

子育てが「孤育て」にならないように、暖かいまなざしと行き過ぎない関わりが必要だと考える今日この頃です。

平成28年度

片瀬地区社会福祉協議会

総会が開催されました

平成28年5月13日



片瀬地区社協にとって平成27年度は、これまでの事業のあり方を見直し、部会構成の変更や新たな事業へむけて検討を重ねた1年間でした。総会では、平成27年度事業報告・決算報告・「今後のあり方」に基づく評価報告、また平成28年度予算などが審議され、すべて承認されました。今年度も引き続き、事業計画に基づき各部会の事業を進めていきます。地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年度

主な事業報告

*高齢者福祉部会

- 1 家族を介護する人のつどい
(8月・11月・2月開催)
- 2 めざせ!元氣シニア!
(7月・11月・3月開催)
- 3 柿狩りと植物園観賞ツアー
(11月) 他

*障がい福祉部会

- 1 市施策検討委員会の傍聴
- 2 福祉講演会への参加
- 3 研修講演会開催(1月)
講師 富田英雄さん
(西念寺住職)

*青少年・子育て福祉部会

- 1 かたせ・にここ広場に協力
- 2 地域の居場所「さいとうさんち」見学
- 3 青少年研修会参加 他

*生活支援部会

- 1 研修会開催
9月「今地域に求められること」
講師 鷺尾公子さん
(認定NPO法人ぐるーぷ藤)
- 12月「現在の介護保険制度と片瀬地区の現状について」
講師 長沼牧人さん
(片瀬地域包括支援センター)

- 2 板垣直人さん(村岡ホーム)
- 2 市福祉大会への参加 他

*広報部会

- 1 「しあわせ」発行(年2回)
- 2 「社協ニュース」発行(年2回)
- 3 片瀬地区ポータルサイトでの情報発信 他

平成28年度事業方針

少子高齢、核家族が進む地域社会の中で、高齢・障がい等により生活しづらい状況を抱えている方々、子育てに不安を感じられている方々などが安心して生活できるよう、身近な地域でふれあい、支えあう環境づくりに取り組み、温かみのある地域をめざします。

高齢者福祉部会よりお知らせ

毎年好評の次の2つの事業については、すでに日程が決まっています。詳細はあらためて回覧にてご案内します。

*めざせ!元氣シニア!

9月27日(火)

平成29年2月23日(木)

*家族を介護している人のつどい

10月1日(土)

平成29年3月2日(木)

平成28年度

片瀬地区社会福祉協議会

理事一覧

*会長 杉山義子

*副会長

小堀暢子(高齢者福祉部会長)
常泉孝子(障がい福祉部会長)
正田恵美子
(青少年・子育て福祉部会長)

甘粕忠雄(生活支援部会長)
澁谷晴子(広報部会長)

畠山義昭(自治連代表者)

*理事

入江美津子(高齢者福祉部会)
山口 晃(高齢者福祉部会)
川田厚子(障がい福祉部会)
三縄みちよ(障がい福祉部会)
山口絢子
(青少年・子育て福祉部会)

有本由美子
(青少年・子育て福祉部会)

田村順子(生活支援部会)

菅原智栄子(生活支援部会)
高橋豊子(広報部会)

中島知子(広報部会)

*会計 川副 正

*監事 岩田記一

依藤光雄

片瀬地区社会福祉協議会一般会計報告

平成27年度一般会計決算 (単位:円)			
収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
会費	654,160	管理費	540,741
補助金・交付金	641,400	事業費	1,016,785
事業収入	352,197	予備費	200,000
寄付金	17,000		
雑収入	84,105		
前年度繰越金	432,717		
合 計	2,181,579	合 計	1,757,526

*収支差引額 424,053円は平成28年度へ繰越

平成28年度一般会計予算 (単位:円)			
収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
会費	640,000	管理費	545,000
補助金・交付金	617,000	事業費	1,169,000
事業収入	300,000	繰出金	200,000
雑収入	947	予備費	68,000
繰越金	424,053		
合 計	1,982,000		1,982,000

片瀬市民センター
新任職員紹介片瀬市民センター長
金子 隆

4月に着任いたしました金子です。少子高齢・核家族化が進む中、ふれあいの機会創出やネットワークづくり等にご尽力されている地区社協の皆様へ敬意を表します。私も社協との連携を密に図り、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

主幹
古澤 泰斗

古澤 泰斗

4月に片瀬市民センターの一員に加えさせていただきました。3月までは市民自治推進課で「地域の縁側」事業などを担当しておりました。ふれあいのまち片瀬・江の島をめざし皆さんのお力になれるよう頑張ります。

福祉窓口担当
熊野 政成

熊野 政成

片瀬4丁目生まれ30年ほど片瀬に住んでいました。4月から福祉窓口担当の仕事をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

しあわせとは

江の島の海に癒されて

中野 藤
(江の島二丁目)

縁あって江の島に住んで五十五年、私には歴史ある江の島は憧れでしたが、昭和三十年代「江の島の住人は結束が固く外部の者を受け入れたがらない」と聞いて不安もありました。住んでみて…。

昔より島の中で不便さを感じながら知恵を出し、助け合い培って来た風土と人間関係、自然災害等何か事が起きたら隣近所で声を掛け助け合う精神が根強い（少しおせっかいなところも…）。今、隣近所、希薄な世の中で声掛けも躊躇することもありますが見守ることも大切です。

子育てが終わった頃、江の島婦人部が発足し、八十人近い会員で年一回の旅行、公民館の女性セミナーに参加して三町内会の皆さんとの交流を深め、すっかり江の島人になりました。会長をしております平成十五

年、婦人部二十周年の記念樹として亀ヶ岡と中津宮広場に河津桜を植えました。今、大木に成長して、毎年早春に見事に咲き観光客を喜ばせています。こうして私も江の島の地で咲くことが出来ました。そして私が何よりも心癒される風景は富士山をバックに相模湾に浮かんで見える江の島の風景です。岩屋海岸に降りると、荒い波の繰り返し、また夜、月が海面を照らして吸い込まれそうな静かさ。今迄、何度か日常の様々な思いを洗い流し、故郷を想いながら自分を見直した場所。

ある靴磨きの男性のお話に「働くこと云うことは、端を楽にさせること」と。なるほど周囲を喜ばせることですね。

私も毎日店（物産店）に立ち観光客とのふれあいで元気をいただいています。ここ数年外国の観光客が多く片言で対応し、楽しんでいきます。先日イギリスの年配のご婦人に「あなたの笑顔がビューティフル、ナイス」と褒められ勇気が湧きました。

私には七人の孫がいます。お正月、春休み、夏休みに顔をみせに来てくれます。孫たちの成長が楽しみです。

さて今年は八〇歳の坂をどう登れるか、脳細胞と体力しだいです。

私の健康法



私の健康法とは何だろう

有賀 武
(片瀬山二丁目)

私は今年の夏に九十三歳になる。この原稿のお話を頂き健康法はと問われ、考えてみると、これと言った健康を意識して行ってきたものなど無い気がする。

幼少期は兄妹が体が弱かったのも母の手伝いを良くし、特に買い物、荷物運びは私の日課だった。軍隊に入隊した時も訓練でひたすら歩かされた辛い思い出がある。

昔は交通の便が悪かったので誰もが何をしてもよく歩いて、運動免許を持っていないのでサラリーマン時代も移動は電車・バス・徒歩だった。

今思えば歩くことが私の健康の源だったのだろう。さらに、私の健康を気遣った妻の食事パワーがプラスされ、この年まで自立して生きて来られたのだと思う。

とは言え、年相応に目も見えなくなってくるし耳も遠くなった。

そんな私を大切に思ってくれる孫や家族に感謝し、何より丈夫な体でこの世に送り出してくれた両親に深く感謝している。

これからも出来る限り自分の足で歩いて行きたいと思っている。私の健康法は歩く事だったのだ。

広報部会視察研修報告

「地域の縁側」めぐり

平成28年2月26日

住民同士のつながりや絆を大切にし、人の和を広げ、互いに支え合えるまちづくりを目的とする市民の交流スペース「地域の縁側」は、いま市内に14か所あります。

広報部会を中心に地区社協13名は、それらの拠点のうち3か所を訪れて、まちづくりの活動にいらしむ皆さんの姿を見せて頂きました。

まず藤沢年金事務所に近い大通りから一本入った道沿いにある「ヨロシク」まるだ(藤沢市藤沢)は、月々金の10時から16時と土曜日の午後1時から開かれています。

安くておいしい「まるだ食堂」の昼食はお年寄りにも主婦層にも大人気。午後からある日替わりの教

室も麻雀や手芸、フラダンスなど盛り沢山で、見るからに活気に溢れていました。

続いて訪問した「地域交流サロン・ゆい」(藤沢市本藤沢)は、住宅地の一角にあり、代表者の定永さんのお宅を一部開放して毎週金曜日の10時から15時に活動しておられます。すぐ裏は修道院で緑に囲まれたまさに閑静なところで、伺った日はサンルームに木漏れ日が降り注ぎ、心落ち着く雰囲気になりました。健康相談やときには講演会、そして第二金曜日にはランチ(500円)を囲む交流サロンがあつて、ひとり暮らしのお年寄りも楽しみにしておられるそうです。

「地域交流サロン・ゆい」代表者 定永さん
お庭も素敵でした

最後に、大庭小学校に近いビル2階の「交流スペースほっと舎」(藤沢市大庭)。こちらも、ほっと

カフェから囲碁、唄って笑って楽しい体操、ときにはせんざいやおでんパーティーと、活動の内容は実に多種多様で、開所時間は10時から16時、木曜日はお休みです。

3か所を回って、運営母体は違っても住みよい豊かなまちづくりをめざす姿勢に、共通なひたむきさと将来への希望を感じました。

*「地域の縁側」とは

地域交流のための藤沢市の事業で、片瀬地区には「ひだまり片瀬」が湘南モノレール湘南江の島駅の斜め向かいにあります。一面掲載の「かたせ・にこにこ広場」も同じ場所です。是非お立ち寄りください。

片瀬地区ボランティアセンター

「ひだまり片瀬」

藤沢市片瀬3-16-10

月々金曜日 香川ビル1階

10時~15時

(祝日除く)

電話 28-3774

編集後記

今号の「子育ての「いま」」は、どの世代にも共通する部分があると思えてなりません。

「孤育て」にならない何かが片瀬にはあると信じて、たくさん笑顔顔を思い浮かべております。

(K・T)